

CONTENTS

1 エコに親しむ

3 [巻頭インタビュー]

山崎直子さん

宇宙で感じた「生きている地球」

7 Case 1 〈町田山崎団地〉

団地で広げる
“米ニケーション”の輪

11 Case 2 〈越谷レイクタウン〉

まち中でネイチャーライフを体験
水辺が育むエコタウン

14 Case 3 〈シャレール荻窪〉

都心の暑さを忘れ
風の吹き抜ける団地に暮らす

17 URのECO

屋上のスペースを
エコにフル活用

19 復興の最前線〈岩手県上閉伊郡大槌町〉

災害公営住宅に地元産木材を活用
産業振興と雇用創出の効果も狙う

21 クロスワードパズル&プレゼント

22 URからのお知らせ

リニア中央新幹線新駅周辺整備の
基本方針策定に関して山梨県と協定を締結
平成25年版 環境報告書
「まち・住まいと環境」が完成

表紙は「越谷レイクタウンフェスティバル」(写真:的野弘路)

季刊「ユアールプレス」
vol.34 (2013年 8月)

発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315
神奈川県横浜市中央区本町6-50-1
横浜アイランドタワー
Tel. 045-650-0892 / Fax.045-650-0889

編集・制作 I&S BBDO
デザイン ボールドグラフィック
印刷 大日本印刷

1-2ページの写真-I 的野弘路、II 大塚俊、III 田中昌

エコに親しむ

「エコ」といっても構える必要はない。
身近な自然に触れ、その大切さを感じるだけでも、大きな意味がある。
団地の中やその周辺には、意外と豊かな自然が広がっていたりする。
居住者が畑や田んぼを作って楽しむ姿も多く見られるようになった。
エコに親しむかたちはさまざまだが、そこに共通してあるのは人々の笑顔だ。

Case 1

〈町田山崎団地〉
コメ作りで実践する
無駄を出さない生活



Case 3

〈シャレール荻窪〉
自然の風がもたらす
涼しい暮らし



Case 2

〈越谷レイクタウン〉
水上スポーツの楽しさと
自然を守る大切さを学ぶ